

大谷池

(おおたにいけ)



ため池の概要

ため池の所在地

愛媛県伊予市

ため池の特徴

大谷池は、地元の貯水量175万トンを有する愛媛県最大のため池で、伊予市平野部の田畑838haに農業用水を供給しています。

「えひめ森林公園」に隣接しており、ハイキングやウォーキングの場として市内外より、多くの人々が訪れています。また、緑豊かな渓谷には、渡り鳥を初め様々な野鳥がおり、鳥類愛好家にとって「宝の谷」でもあります。

大谷池のある旧南伊予村は、雨が少なく、度々干ばつの害に悩まされてきました。

農民の窮状を見かね、村長の武智惣五郎が「成否はもとより天にあり、吾れ死すとも辞せず」という悲壮なる覚悟のうえ、地域の人々とともに度重なる辛苦に耐えて、昭和20年に大谷池を完成させました。延べ373,000人が携わった土木工事は、当時としては破格の規模でした。

地元の小学校には築造者の功績をたたえた胸像、大谷池土地改良区には顕徳碑が建立されており、毎年稔りの秋には、多くの人々が大谷池に集って、盛大な感謝祭を催し、その遺徳を偲んでいます。

関連情報

大谷池築造50周年記念誌、大谷池築造60周年記念誌